

公民 科

| | | | |
|-------|-----|--------|-----------|
| 科目名 | 単位数 | 学年 | 学科 |
| 政治・経済 | 2単位 | 3年(選択) | 普通科 農業機械科 |

| | | | |
|-----|--------------|-----|----|
| 教科書 | 政治・経済（第一学習者） | 副教材 | なし |
|-----|--------------|-----|----|

| | |
|-------|--|
| 科目の目標 | <p>選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論を活用して現実社会の諸課題について身に着けた判断基準を根拠に妥当性や効果、実現可能性について議論し、公正に判断し、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを求める。</p> |
|-------|--|

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

| | 学 習 項 目 | 単元の評価の観点 | |
|--|-------------------------|--|---|
| | | ①知識・技能 | ②思考・判断・表現 |
| 1 学期 | 第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> 政治と法、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について理解している。 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済と経済成長、在師と租税の意義、金融の仕組みについて理解している。 国際法の意義、国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、理解している。 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国際収支、国際経済機関の役割について、理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法と現代政治の在り方との関連、政党政治や選挙の観点から、多面的・多角的に考察し表現している。 市場経済の機能と限界、財政や金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し表現している。 国際法の果たす役割、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察し表現している。 国際社会の諸課題の解決に向けて政治と経済とを関連付けて多面的・多角的に考察し、自分の考えを説明・論述している。 |
| 2 学期 | 第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 | | |
| 3 学期 | 第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 | | |
| <p>1 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他社と協働して持続可能な社会の形成が求められる日本社会・国際社会の諸課題を探求する活動を通して、自分の考えを説明、論述できるようになりました。</p> <p>2 様々な資料を活用してレポートを作成し、課題（問い）を見つけ、多面的・多角的に考察し、それを表現しましょう。</p> <p>3 粘り強い取り組みを続け、学習内容をまとめ、発表し、相互に評価しましょう。</p> | | | |

| 番号 | 評価の観点 | 評価規準 |
|----------------|---|--|
| ① | 知識・技能 | 政治や経済に関わる事象を理解し、多様な資料から情報を読み取ってまとめる技能を身に付けている。 |
| ② | 思考・判断・表現 | 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 |
| ③ | 主体的に学習に取り組む態度 | 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 |
| 定期考査 | 1学期中間・期末 2学期中間・期末 学年末（計5回） | |
| 評価方法 〈観点番号〉 | <p>以下を総合的に評価する。</p> <p>①知識・技能（定期考査、レポート）</p> <p>②思考・判断・表現（定期考査、レポート、グループワーク）</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度（授業・研究発表の態度、レポート、グループワーク）</p> | |